



令和3年度の成人式で記念撮影する平成12年度生まれの出席者

大人としての自覚を胸に— 令和3、4年度 平泉町成人式

新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期した令和3年度と、今年度の町成人式(町、町教委主催)を8月15日、町学習交流施設「エピカ」で挙行了しました。対象者でつくる実行委員会による記念行事は中止となったものの、出席者が旧友と再会し、大人としての責任をかみしめました。【4、5頁に写真特集】



令和4年度の成人式で記念撮影する平成13年度生まれの出席者

町長に青木幸保氏3選

任期満了に伴う平泉町長選挙が8月2日に告示され、現職の青木幸保氏(68)のほかに立候補の届け出はなく、無投票で青木氏の3期目の当選が決まりました。

当選証書は8月7日、町選挙管理委員会委員長から青木氏に交付されました。任期は8月27日から令和8年8月26日までの4年間です。



平泉町長 青木 幸保

青木 幸保氏(あおき・ゆきお) 昭和29年平泉町長島生まれ。47年水沢農業高校卒。農業の傍ら、63年から町議会議員を7期26年間。町議会議長、県町村議会議長会長などを経て、平成26年の町長選挙で初当選し、令和4年選挙で無投票3選。就任後は「町民総参加のまちづくり」実現に努める。趣味は溪流釣り。長島字前林在住。

就任あいさつ

町民の皆さま、8月27日付で3期目の平泉町長に就任しました青木幸保です。身の引き締まる思いであり、町民が希望と誇りを持つことができるまちづくりに、全力で取り組む所存です。

今後の町政運営にあたっては、これまでの2期8年間で町民の皆さんと共に創り上げてきた土台を活かし、次代を拓くため、町民総参加でチーム平泉を前に進める「8つの政策」に取り組めます。

1つ目は、新型コロナウイルス

ル感染症との共存や、ポストコロナを見据えた新たな日常へ向けて、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ります。

2つ目は、平泉スマートインターチェンジ開通の優位性を活かした企業誘致や新たな工業団地の整備を検討するとともに、特産品の開発やブランド化、道の駅の効率的な活用や魅力化を図り、農家所得の向上を目指します。

3つ目は、Uターン・移住希望者などへの支援に取り組むとともに、「交流人口」

のさらなる拡大や、継続的に地域に貢献いただける「関係人口」を拡大する仕組みを構築します。

4つ目は、地域と行政が一体となった防災・防犯体制と消防・救急体制の充実を図るとともに、県道一関北上線の改良早期着工、国道4号の拡幅など交通網の整備や、町道の適切な維持管理、公共交通網の維持など、暮らしやすい安全・安心なまちづくりを推進します。

5つ目は、教育の質の向上や「平泉学」の充実を図り、町

のさらなる拡大や、継続的に地域に貢献いただける「関係人口」を拡大する仕組みを構築します。

6つ目は、保健・医療の充実や高齢者の生活支援などにより、健康寿命の延伸を図り、地域福祉、高齢者福祉、障がい者(児)福祉の充実を図ります。

7つ目は、結婚から出産、子育て期までの切れ目のない支援の充実を図ります。

8つ目は、「平泉の文化遺産」の適切な保護や拡張登録の実現に取り組み、平泉にしかない遺跡の活用策を検討します。

終わりに、新型コロナウイルス感染症の影響が続いていますが、私は、この大きな転換の時だからこそ、これまで以上に町民総参加のチーム平泉の取り組みが重要と考えています。コンパクトな町の特性を最大限に活かしながら、町民と行政の対話を大切にし、町も町民も何ができるかを共に考え、一緒に行動しながら、持続する町をつくってまいります。

町民の皆さまのご理解とご協力、町政への参画を心からお願い申し上げます。